令和７年度　評価規準

教科	国語	学年	第1学年

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はるが　きた	2	◎互いの話に関心をもつことができる。 ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。	進んで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし　ききたいな	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
なんていおうかな	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	●「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ●「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫してい	経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。

令和７年度　評価規準

かく　こと　たのしいな	1	◎平仮名を読み、書くことができる。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	●平仮名を読み、書いている。] ●姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている		正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけようとしている。
どうぞ　よろしく	3	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 〇経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている	●「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ●「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。	積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。
こんな　もの　みつけたよ	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 〇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる	紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに　あわせて あいうえお	2	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。 〇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。	●姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ●長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。

令和７年度　評価規準

こえに　だして　よもう	1	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 〇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
よく　きいて、はなそう	2	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 〇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 〇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	●「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ●「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	興味をもって進んで友達の話を聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。
ことばを　さがそう	2	◎音節と文字との関係に気づくことができる。 ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	●音節と文字との関係に気づいている。]●身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。		句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。

令和７年度　評価規準

はなの　みち	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 〇敬体で書かれた文章に慣れることができる。	●敬体で書かれた文章に慣れている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。
としょかんへ　いこう	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。
かきと　かぎ	2	◎平仮名を読み、書くことができる。 〇語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	平仮名を読み、書いている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。

令和７年度　評価規準

ぶんを　つくろう	4	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。 ○語と語との続き方に注意することができる。	●句点の打ち方を理解して文の中で使っている。 ●文の中における主語と述語との関係に気づいている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
ねこと　ねっこ	2	◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。 ○語と語との続き方に注意することができる。	促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
わけを　はなそう	2	◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	●「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ●「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。

令和７年度　評価規準

おばさんと　おばあさん	2	◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。 ○語と語との続き方に注意することができる。	長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
あいうえおで　あそぼう	3	◎平仮名を読み、書くことができる。 ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。 ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。	●姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ●平仮名を読み、書いている。 ●長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
つぼみ	8	◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	●文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	●「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ●「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。

令和７年度　評価規準

おもちやと　おもちゃ	2	◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。 〇語と語との続き方に注意することができる。	拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
おおきく　なった	4	◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。 〇語と語との続き方に注意することができる。	拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
おおきな　かぶ	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 〇文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 〇場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	●文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	●「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ●「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。

令和７年度　評価規準

はをへを　つかおう	3	◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	進んで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。
すきな　こと、なあに	7	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。	●言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ●丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ●「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ●「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。

令和７年度　評価規準

おむすび　ころりん	5	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。 ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 〇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ●昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
こんな　ことが　あったよ	6	◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 〇文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	●「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ●「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。
としょかんと　なかよし	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。

令和７年度　評価規準

こえを　あわせて　よもう	2	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 〇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
みんなに　しらせよう	2	◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。 〇姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。 〇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	●「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ●「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている	積極的に友達の話を聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。
ことばを　みつけよう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。		積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。

令和７年度　評価規準

やくそく	8	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	●文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	●「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ●「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。
かたかなを　みつけよう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。 ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる	片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。	身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
うみの　かくれんぼ	8	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	●文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ●事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ●「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。

令和７年度　評価規準

かずと　かんじ	4	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。 ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。	第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。	積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。
くじらぐも	8	◎かぎ（「　」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 〇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	●かぎ（「　」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
まちがいを　なおそう	2	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。 〇助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。	進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。

令和７年度　評価規準

しらせたいな、見せたいな	10	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「　」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。	●言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ●助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「　」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	●「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ●「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。	知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。
かん字の　はなし	6	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。 ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
ことばを　たのしもう	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。 ○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	●音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ●長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。

令和７年度　評価規準

じどう車くらべ	7	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 〇事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 〇文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容との大体を捉えている。 ●「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにいかしたいことを見つけようとしている。
じどう車ずかんを つくろう	5	◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 〇事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
かたかなを　かこう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。 〇語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。	片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている。

令和７年度　評価規準

どんな　おはなしが できるかな	6	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。 ◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 〇句読点の打ち方、かぎ（「　」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 〇文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 〇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	●句読点の打ち方、かぎ（「　」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ●文の中における主語と述語との関係に気づいている。	●「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ●「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ●「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。	物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。
たぬきの　糸車	8	◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 〇文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 〇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 〇場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	●文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	●「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ●「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。

令和７年度　評価規準

日づけと　よう日	3	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。 ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	・第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ●身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。
てがみで　しらせよう	6	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。 ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	●「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 ●「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	書いた文章を積極的に見直しながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。
むかしばなしを　よもう おかゆの　おなべ	8	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	●「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ●「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。

令和７年度　評価規準

なりきって　よもう	2	◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。	進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
くわしく　きこう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	積極的に友達の話を聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。
ことばで　あそぼう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。	●身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ●長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。

令和７年度　評価規準

どうぶつの　赤ちゃん	10	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 〇読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	●共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ●読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	●「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ●「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。
ものの　名まえ	6	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 〇身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 〇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。	●言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ●身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
わらしべちょうじゃ	1	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。 〇文章を読んで感じたことを共有することができる。	昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。	積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。

令和７年度　評価規準

かたかなの　かたち	3	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。 〇語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
ことばあそびを つくろう	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 〇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。 〇語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	●身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ●長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
これは、なんでしょう	4	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。 〇事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 〇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	●「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ●「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。

令和７年度　評価規準

ずうっと、ずっと、 大すきだよ	8	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
にて　いる　かん字	3	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。 ・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。	第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している	進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。
いい　こと　いっぱい、 一年生	10	◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。 ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	敬体で書かれた文章に慣れている。	●「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ●「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして１年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。